

日時：2010年2月7日

場所：ハイアットリージェンシー大阪

参加者：大谷G、岡部GN、泉AGE、村橋委員長、磯田副委員長、  
田中、有竹、和田、西谷、小山、吉田各委員、大学指導教官、  
学友会、各クラブ会長、幹事、米山委員長、  
カウンセラー計89名

米山奨学委員会  
委員

## 吉田 悦治

(大阪大淀RC)

2009年度、「米山奨学委員会、米山奨学生終了者歓送会」が上記のように開催されました。はじめに大谷Gの挨拶があり、ご自身のアメリカ留学の体験談などを披露され、奨学期間を終える学生たちにお祝いの言葉とエールを贈られました。その後、今年度奨学生を終了する留学生の皆様を終了書の盾と記念品が、そしてカウンセラーのロータリアンには感謝状が大谷Gより一人一人手渡されました。

次に村橋委員長より、17年ぶりに日本に生まれ、地区大会に出席される、金守基氏の例を出され、「お国に帰られてからお国の困っている人や助けを必要とする人に返してもらえたら、この奨学金の意味もあり、お国と日本のよき文化の架け橋に皆様がなっただけだと期待しています。」と挨拶されました。

岡部GNの挨拶と乾杯で始まった歓談、食事の

あと、指導教官、カウンセラーと奨学生の皆様が壇上で感謝の気持ちを発表されました。「経済的に心配する事無く学業に専念出来たのも米山奨学金のおかげです。」「温かいカウンセラーとクラブの皆様には本当にお世話になりました。」「多くのロータリアンや奨学生との出会いが出来たのもこの米山制度のお陰です。」等々……です。

引き続き、米山奨学生のOB会である学友会の会長・朴日（中国）さんから「これからは学友会に入って一緒に活動していきましょう。」という話があり、最後に磯田副委員長の閉会の挨拶で和やかなうちにお開きになりました。

米山奨学生としてはこれで終了ですが、今後もこのロータリーとの縁が末永く続くことを祈っています。最後に今年度米山奨学生をお世話いただきましたカウンセラーをはじめ、世話クラブの皆様へ深く感謝申し上げます。

